鎌倉の 温古堂
創業弘化四年
盆提灯・仏壇
仏具・香・香炉
御宮・神具
フーフでナムナム
☎〇四六七（22）七六七六

8月1日号
2016年（平成28年）
第449号
毎月1日発行
（一部税込108円）
http://kamakura-asahi.com

鎌倉朝日

朝日新聞の姉妹紙
© 発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町２丁目８番１３号 2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉 峰本
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

空から見よう玉縄城址

龍寶寺のふるさと館に絵図を展示

鎌倉市植木の龍寶寺境内にある玉縄ふるさと館（歴史民俗資料館）に7月7日、「鎌倉・玉縄城址歴史ミュウジアム絵図」＝写真＝が寄贈され、展示されている。

「玉縄城址まちづくり会議」（荒井章代表）が文化庁から平成28年度の文化芸術振興費補助金を得て作製。ヨコ80㌢、タテ60㌢ほどの玉縄城址周辺を写した航空写真の四隅に草花の絵が描かれている。絵は市内在住の日本画家・大竹五洋さんが鎌倉の四季を表わすサクラ、ヤマユリ、リンドウ、カエデを描いた。

同会は境内の国指定重要文化財「旧石井邸」の修復、周辺地域の遺構の保全整備などを行いながら、玉縄城址を中心とする地域の活性化を手掛けている。

松尾崇鎌倉市長（中央）、龍寶寺・梅田良光住職（左）、大竹五洋画伯（右）と玉縄城址まちづくり会議の会員たち

鎌倉みほとけ紀行 (62)

五大堂・明王院　千手観音立像

題字は建長寺派管長　吉田　正道

文　永井宗直
写真　原田　寛

朝比奈峠を走り抜け鎌倉の入口、十二所の明王院さまをはじめて訪ねた。この地は鎌倉幕府から見て鬼門の方角にあり鬼門除けの祈願所として1235年に鎌倉幕府四代将軍藤原頼経によって建立された。夕方にもかかわらずご住職、副住職様が親切に対応下さった。第一印象は「実に鎌倉らしいお寺」。梅雨の晴れ間涼しい風が谷を通り抜け、青年僧仲田副住職の笑顔とお話は実に爽やか。真言密教の話など興味深く伺った。

本堂横の御堂で千手観音様を拝観。まず、小さいお姿に少々びっくりした。だがよく見ると実に精緻を極めた美しい像。日常目にする仏像の大きさとはかけ離れて小さくも見えるが、古き時代にはよほどのブランド寺院の巨大仏は別にして、こうしたこじんまりした像を拝見すると人々の切なる祈りと地域に根ざした信仰を感ずる。

観音様の前に円筒型の堆朱のお厨子があり、気になりだずねてみると、歓喜天はヒンズー教から仏教に取り入れられたガネーシャといわれる神。仏教を守護し財運と福運をもたらす天部の神は一生人を助けてくれる。お参りする者は願を裏切らず受けた恩をまわりへ向けねばならない。つまり自分のことだけでは駄目だということ。

毎月28日は護摩を焚いて祈祷し、地域と寺が共存共栄している。寺の在り方として心清まる明王院。おみやげに人気の塗香を頂戴し清々しい気分で寺を後にした。

寄木造。玉眼、肉身金泥、衣漆塗。像高26・4㎝。江戸時代。

海の安全願って 石上さまの例祭

鎌倉市坂ノ下の御霊神社境内にある石上神社の例祭の御供流しが、海の日の7月18日に行われた＝写真。午後1時からの境内での神事の後、天王唄に合わせて海岸に移動。赤飯を持った若者15人が、宮司と神輿をのせた漁船と共に泳いで沖に向かい、赤飯を岩礁に沈めて海難者の霊を慰み、海の安全を祈願。飛び入りの外国人2人も完泳し、拍手で迎えられた。

昔、沖に大きな岩礁があり、船がこの岩に乗り上げて難破したので、岩礁の一部を安置して祠をつくって祀り、水難除けを祈ったのが石上神社の社後方の石の由来という。

創刊37周年の「鎌倉朝日」が9月の450号発行記念に「鎌倉を舞台に撮影した映画上映会」を行います。映画の見どころなどを語る座談会の記事を4・5面に掲載しています。

「鎌倉朝日」450号記念映画会
チケット好評発売中！

「海街diary」
9月6日鎌倉芸術館小ホール◆午前の部11時◆午後の部13時45分、16時、是枝裕和監督ゲストトーク。前売・シニア千円、当日1300円。

Ⅱ「麦秋」「それから」
9月10日（土）鎌倉生涯学習センターホール。11時「麦秋」、3時50分、保坂和志氏（小説家）ゲストトーク、14時20分「それから」。前売1500円、当日1700円。Ⅰ＋Ⅱセット券2300円、チケットは市内の書店などで好評発売中。

鎌倉の年中行事　8月

▼鶴岡八幡宮のぼんぼり祭　6～9日。6日15時、夏越祭。17時、俳句会。7日17時、立秋祭。9日10時、実朝祭。正午、短歌会。期間中、日本舞踊、献茶会、献華会など。

▼黒地蔵縁日　10日0時～正午、覚園寺。

▼四万六千日詣り　10日杉本寺、長谷寺、安養院。

▼閻魔縁日　16日山ノ内の円応寺。非公開。

▼鎖大師の施餓鬼法要　16日14時、本尊ご開帳。手広の青蓮寺。

▼鵠沼皇大神宮（鳥森神社）人形山車　17日

▼鎌倉宮例祭　19日16時、前夜祭。20日10時、例祭。21日10時、後鎮祭。

▼玉縄首塚祭り　20日18時、ぼんぼり点灯。夕方、玉縄首塚で墓前祭。

▼片瀬諏訪神社例大祭　23～27日。神輿や山車。

プロムナード

海と山に囲まれた自然の要塞が成立している、攻めにくい地形を利用して繁栄した鎌倉。そのような攻め込みにくい状況を今でも体感することができるのが「渋滞」だと感じます▼6月に車で鎌倉を訪れた知人が朝比奈ICから鶴岡八幡宮周辺に到達するのに約2時間かかった。どこの道も大渋滞をしていたので、鎌倉へ攻め込むのに苦労したそうです▼観光客だけでなく鎌倉に在住・在勤している人も苦労していますよね。特に仕事で車を利用している人は渋滞が死活問題に発展します。観光客と市民、どちらにとっても不幸な渋滞問題。渋滞のイライラをワクワクに変えるサービスがあると素敵ですね。（N）

鎌倉の街並と
日本人の心に馴染む家づくり
KAMAKURA STANDARD
戸井田工務店
〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町5-5-9
TEL.0467(24)7777(代) FAX.0467(24)7005
http://www.kamakura-standard.com

鎌倉名産 梅花ほんぺん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

明治37年創立
学校法人 鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電話（0467）25-2100（代表）

暑中お見舞い申し上げます
鎌倉大仏殿高徳院
住職　佐藤孝雄
拝観時間
4～9月　午前8時～午後5時30分
10～3月　午前8時～午後5時
鎌倉市長谷4丁目2番28号
電話　0467-22-0703
FAX　0467-22-5051
ホームページ　http://www.kotoku-in.jp/

暑中お見舞い申しあげます
旧官幣中社　明治天皇御創建
鎌倉宮　二階堂154　鎮座
宮司　長岡仁志
七五三セットプラン
■予約受付中
9時から17時まで
■セットプラン内容
（お衣裳・お支度・記念写真・七五三ご祈祷がセットに含まれます）
ご祈祷は一家族ずつ丁寧に行います。
■七五三内覧会開催日
9月17日（土）10時より（完全予約制）
電話　0467-53-7471（専用ダイヤル）
FAX　0467-22-3755
ホームページ　http://www.kamakuraguu.jp/

暑中お見舞い申し上げます
槐の会
「槐の会」は鶴岡八幡宮の外郭団体として健全で明るい社会づくりのために活動しています。
〒248-8588 鎌倉市雪ノ下2-1-31 鶴岡八幡宮社務所内
Tel:0467-22-0315 / Fax:0467-22-4667
http://www.enjunokai.jp
enju@hachimangu.or.jp
会員募集中